

第2回小規模多機能ホーム翠のさと運営推進会議録

日 時：令和2年7月21日(火) 14：00～15：00

場 所：小規模多機能ホーム 翠のさと

参加者：・上谷一区自治会長様 ・ご利用者家族代表者様
・上谷一区民生委員様 ・有限会社翠のさと代表取締役
・米子市長寿社会課職員様 ・小規模多機能ホーム翠のさと管理者
・地域包括支援センター職員様 ・小規模多機能ホーム翠のさとリーダー
・米子市健康対策課職員様

あいさつ (有限会社翠のさと代表取締役)

4月1日より関係者、近隣住民の方々のご協力のもとオープンすることができました。当初予定していた福わらいの稼働はコロナウイルスの関係で現在行えておりませんが、近隣住民の方からのご期待もあり是非オープンしたいという思いであります。今後の情勢も踏まえた上で、翠のさととして福わらいを9月オープンを目指し努力してまいりますので期待していただきたいと思います。

報 告 (小規模多機能ホーム翠のさと管理者)

【事業所理念と方針】

理念〈関わる誰もに感動を ありがとうが咲く事業所へ〉

方針 『在宅生活を送られる中で、支援・活動を通してご利用者様お一人おひとりの現在の力を維持・向上するよう努める』『地域に対して貢献できることを模索しながら、感動していただけるようなサービスを目指す』

【登録状況】

登録者 8名 平均要介護度 1.5 平均年齢 87.6歳

【なんでも報告書】

4月/0件 5月/0件 6月/4件

- ・外傷 昼食時に汁をこぼされ右大腿部に汁がかかってしまった
- ・外傷 昼食作りの際に包丁で指を0.5cm切傷される
- ・その他 訪問予定であったがスタッフが勘違いをしておりご家族から電話があった
- ・その他 訪問入浴の際に手順などに不備があり連絡ノートでご家族から指摘を受ける

議 題 小規模多機能ホームの課題と展望

・ケアマネジャーの役割について

地域でのケアマネジャーの役割は多岐にわたる。状況や状態の変化に柔軟に対応していただきたいが、訪問になかなか来てくれなかったりタイムリーにプランや支援の変更をしてもらいたいが、そうでない方も居るのが現状である。(上谷一区民生委員様)

本来のケアマネジャーの役割は様々な状況を踏まえ適切なサービスを行う為に関係者と密に連携を取りながら行うべきである。(地域包括支援センター職員様)

小規模多機能のケアマネジャーとしては柔軟に支援を変更して下さったり、入院した際もスタッフの方々が状況の確認に来られたりしているので感謝している。(ご利用者家族代表者様)

・消防訓練について

現在、火災や地震、水害と様々な危険が各地で起きている中で、小規模多機能での避難誘導や安全の確保には従業者だけでは難しい問題もある。その為、地域住民の理解を得ながら実施していくことが何より重要であると考えます。地域住民や消防及び関係業者との連携をしっかりとってご利用者様の安全確保に努めて頂きたい。(米子市長寿社会課職員様)

・小規模多機能ホーム・福わらいに対する要望

家庭で認知症の対応面で非常に難しさやもどかしさを日々感じる。介護の技術や知識を得る場所が無い為、福わらいでそういった活動をしていただけると家族としては大変ありがたいし、ニーズもあるのではないかと思います。(ご利用者家族代表者様)

中学校区に一人ずつ“地区担当保健師”が配置されました。活動は高齢者の健康相談・赤ちゃん訪問など地域での健康作りを一緒に考えていきたいと思っています。(米子市健康対策課職員様)

福米地区は高齢者施設が多くある中で、翠のさと独自の特色を出しそれを対外的に発信していくことで広く認知されていくのではないかと。(上谷一区民生委員様)

次回議題

- ・消防訓練の実施状況の報告
- ・福わらいの現状報告
- ・小規模多機能ホームの現状報告（登録状況、リスクマネジメント等）

次回会議予定

日 時：令和2年9月15日（火）14時～

場 所：小規模多機能ホーム 翠のさと

※コロナウイルス感染症の状況で変更もあり得る。